パラグアイ 道路インフラの専門家11名が、舗装技術の視察で国総研・土研を訪問しました。

（2026年11月10日）

○ 国土技術政策総合研究所（国総研）では、日本が持つ実用的な建設技術等について、諸外国における標準化や発注仕様の改善等を支援し、海外展開を促進する取組を進めています。

○ 2026年11月10日、経済産業省が実施する新興国の人材育成事業として、パラグアイ道路協会・アスンシオン大学他、道路インフラの専門家11名が、日本のコンクリート舗装の先進技術、試験方法、施工・維持管理について学ぶことを目的に、国土技術政策総合研究所・土木研究所を来訪しました。

○ 国土技術政策総合研究所及び土木研究所の役割や施設概要を説明した後、舗装実験フィールド（土木研究所保有）において、日本の舗装技術や実大舗装施設の視察を行いました。

○ 国土技術政策総合研究所では、こうした技術協力を通じ、日本のインフラの品質・管理への理解を深め、日本が強みを持つ建設技術の標準化・海外展開を促進してまいります。









